

第48回 株主通信

2016年3月期第2四半期

2015年4月1日から2015年9月30日まで



特集

地理的カバレッジの活用による グローバル企業のサポート



株主の皆様へ	1
開示セグメント変更のお知らせ	5
特集 地理的カバレッジの活用による グローバル企業のサポート	6
こんなところにNTTデータ！ フルーツトマトの栽培にも！	9

株主の皆様へ

中期経営計画の目標達成に向けて 邁進してまいります

代表取締役社長

岩本敏男



中期経営計画(2013年3月期～2016年3月期)の目標

Global Top 5
売上高

1.5
兆円超

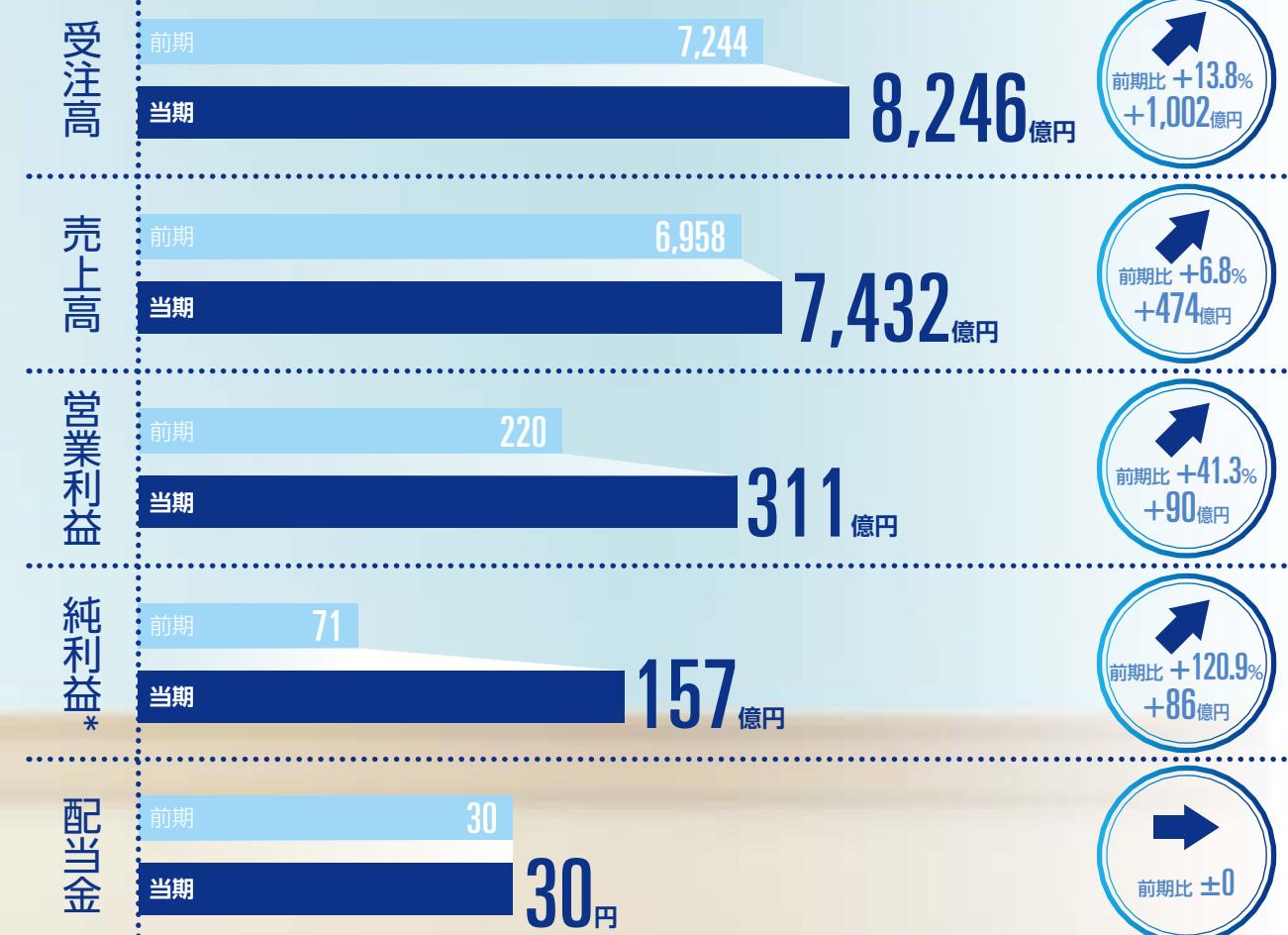
EPS(1株当たり純利益)

200
円

2016年3月期
上半期業績の
ポイント

1 受注高、売上高はおおむね好調

2 利益についても増益ではあるものの、
不採算案件管理に課題



*親会社株主に帰属する四半期純利益を示します

1

2016年3月期上半期の業績について

受注高、売上高、そして各段階利益のすべてにおいて対前期比で増加となりました。受注高、売上高は、既存大型案件の更改受注や新規ビジネス拡大、および海外子会社の規模拡大等により増加しております。海外において為替影響によるプラス効果も含まれますが、それを除いても非常に好調だったと言えます。営業利益は、対前期比40%超の増益ではありますが、不採算案件の発生等、予定通りいかなかつた部分がございます。

下期に向けても様々な事業リスクはありますが、受注高、売上高の好調さを維持することなどにより、引き続き通期の利益目標達成に向けて取り組んでまいります。

2

不採算案件の発生について

不採算案件について、今期は年間50億円程度に抑えることを当初に目指していましたが、上期で107億円の損失となりました。およそ2年前に発生した不採算案件に対して、「プロジェクト審査委員会」による管理強化などの対策を打ち、受注前審査を強化しておりますが、プロジェクト審査委員会発足前に受注していたいくつかの案件に加え、プロジェクト審査委員会の適用案件でも1件不採算が発生しました。

このような状況を踏まえ、今回発生した不採算案件のモニタリング徹底に加え、プロジェクト審査委員会での審査方法の充実化並びに審査委員会体制の強化等を行っております。これらを通じて今後も、不採算リスクの低減を図ってまいります。

3

当期の通期業績見通し

上期においては受注高、売上高が好調な一方で、営業利益については不採算案件が想定以上になる等、当初の想定とは異なる部分もありますが、今後の経営努力や事業リスクなどによる不確定要素も踏まえ、当初立てた通期目標を引き続き目指します。

特に営業利益については、不採算案件が当初予想よりも増加しておりますが、好調な受注高や売上高、あるいは生産性の改善により、粗利益を拡大し、販管費をコントロールすることで、引き続き1,000億円を目指します。

4

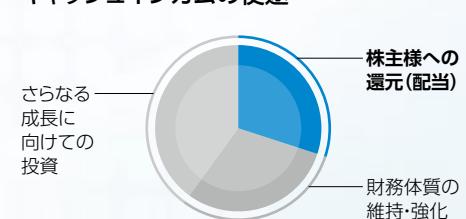
株主還元方針と当期の配当金について

また、中期経営計画の目標のひとつであるEPS200円達成に向けて引き続き邁進してまいります。

株主様への還元については、これまでと同様、さらなる成長に向けての事業投資機会や有利子負債の状況を踏まえつつ、財務体質の維持・強化を考慮しながら、安定的に実施していく方針です。

2016年3月期の中間配当は1株当たり30円とさせていただきますが、期末配当につきましては、前期から10円増配の40円を予定しています。その結果、年間配当金は前期から10円増配の70円を予定しています。

キャッシュインカムの使途

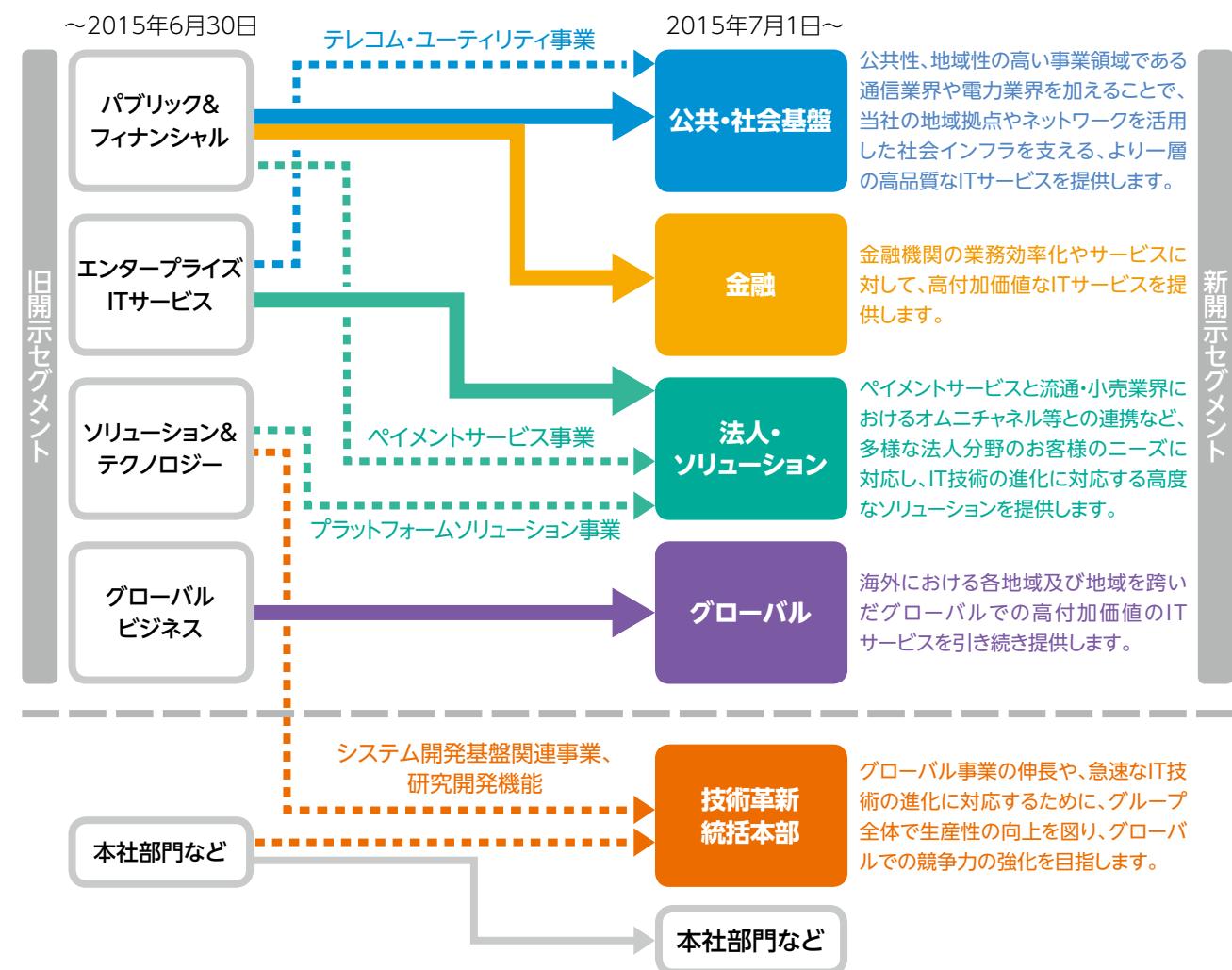


当期の通期業績見通し (単位:億円)



開示セグメント 変更の お知らせ

当社は7月1日付で、事業間の連携促進や迅速な意思決定を目的に、従来のカンパニー制を廃止し、業務執行を事業本部レベルで行う機構改革を実施しました。それに伴い、開示セグメントが以下のように変更になります。



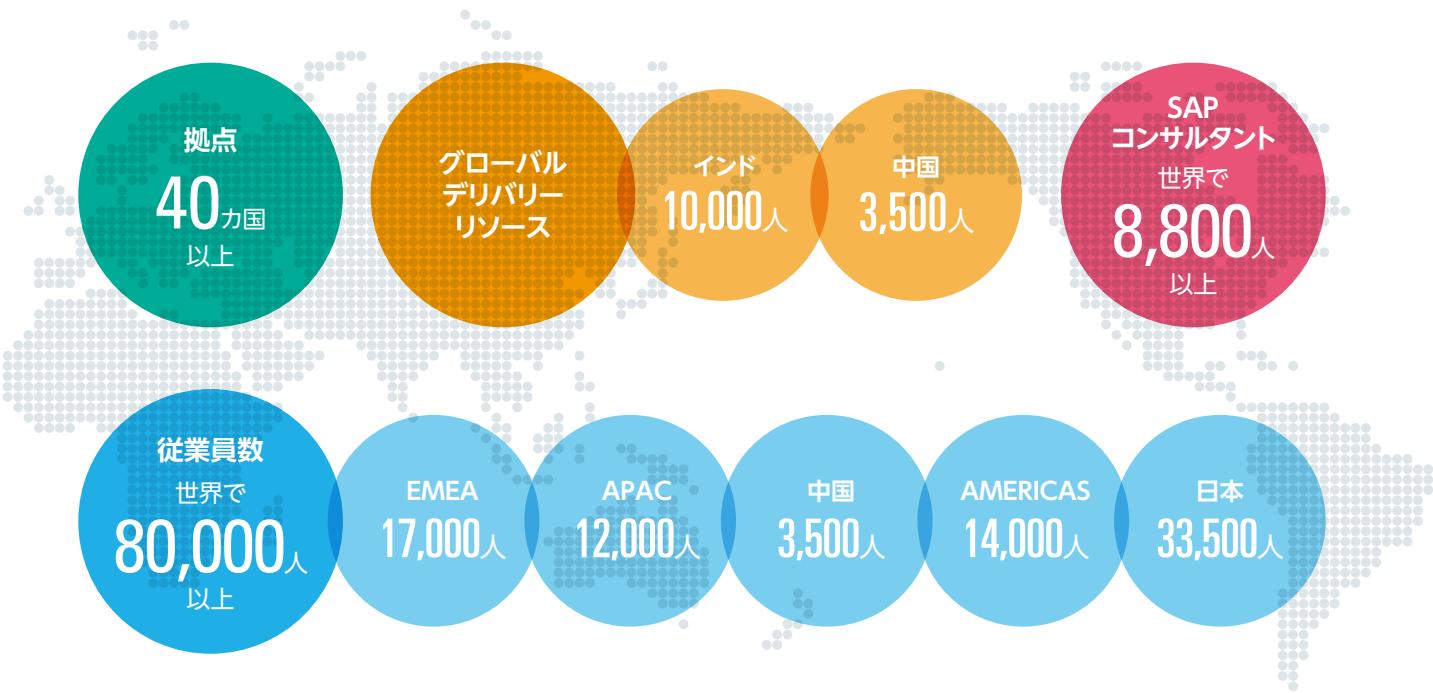
特集

地理的カバレッジの活用による グローバル企業のサポート

当社は2005年にGlobal IT Innovatorをグループビジョンに掲げ、グローバル化に向け大きく舵を切りました。以降、M&Aを通じ海外基盤を拡充しながら海外売上比率を順調に伸ばし、当社の考えるGlobal 1st Stageに立つことができました。1st Stageで得た地理的カバレッジ(当社グループの拠点が世界の多くの地域をカバーできること)は、世界に拠点を持つグローバル企業をサポートする上で大きな武器となります。現在は、この地理的カバレッジをベースに2nd Stageへの到達を目指しています。



ここでは、当社が地理的カバレッジを拡大して獲得した主なグローバルリソースについてご紹介します。



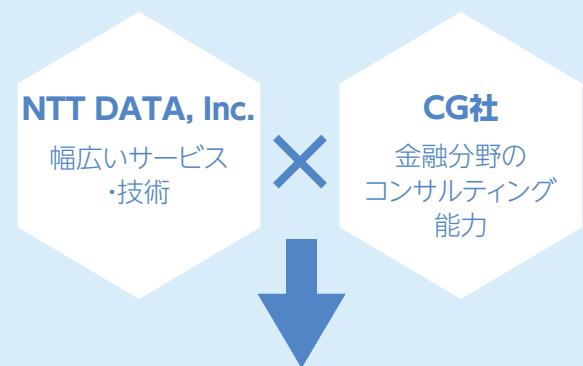
当社グループの従業員、高い専門性を持つSAPコンサルタントなどが多くの国・地域をカバーすることで、世界中に拠点を持つグローバル企業への充実したサポートが可能になります。また、グローバル化を目指して新たな国・地域に進出しようとする企業にとってのベストパートナーとなることができます。

現在、海外グループ会社の連携によるグローバルレベルのITシステム受注、日本企業の海外進出サポートなど、それらを裏付ける様々な実績ができます。

今後は、現在のリソースをベースにLocal Presence、Global Synergy(→P6の図)の強化に努めます。Local Presenceの強化については、次ページの事例をご覧ください。

Carlisle & Gallagher Consulting Group, Inc.の子会社化について

当社のM&Aは、地理的カバレッジを拡大するだけではなく、買収企業とのシナジーを考慮し、戦略的に実施されています。ここではその最新事例として、Carlisle & Gallagher Consulting Group, Inc.の子会社化についてご紹介します。



シナジー創出
金融分野にて、これまで以上の高付加価値なサービスを提供

シナジーの具体例:
業界の規制変更に伴うプロセス変更対応
CG社は多くの金融機関に対し、新たな規制に対応するためのプロセス変更のコンサルティングを行っており、それに伴うシステム開発業務をNTT DATA, Inc.が担うことができます。

当社の米国子会社であるNTT DATA, Inc.は、2015年7月、金融ITコンサルティング会社、Carlisle & Gallagher Consulting Group, Inc. (CG社)を100%子会社としました。

CG社は、金融業務に特化したコンサルティングやシステム導入サービスにより、米国の大手金融機関を中心に高い評価を得ている会社です。

今回の子会社化によって、NTT DATA, Inc.は、自社が持つ幅広いサービス・技術に、CG社の専門的なコンサルティング能力を組み合わせることで、銀行分野、資産管理・運用分野などの専門領域でこれまで以上のサービスを提供することが可能になりました。

Carlisle & Gallagher Consulting Group, Inc.

①事業内容: 大手金融機関向けのビジネスおよびシステム・コンサルティング、システム開発、業務プロセス設計・改善・導入サービス

②設立年: 2002年

③本社所在地: 米国・ノースカロライナ州 シャーロット

④主要拠点: 米国・ジャクソンビル、ダラス、(50音順): ニューヨーク、ロサンゼルス

⑤従業員: 約850人

こんなところに
NTTデータ!



フルーツトマトの栽培にも!

当社グループのNTTデータ経営研究所は、次世代の園芸拠点である「富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点(以下、富山拠点)」に対し、高品質なフルーツトマトを効率的、安定的に栽培するための支援を実施しました。

このプロジェクトは、従来の「経験と勘」にもとづく農業に代わり、「科学」にもとづく農業を実現することを目的としています。

プロジェクトの成果としては、①栽培環境の情報を取得するロボット「計太君」(右ページの写真)の開発、②収集した情報をもとに、高品質なフルーツトマトを栽培するための栽培条件を分析・抽出するシステムの開発、③新規就農者の作業を均質化するための支援ツールの開発、などが挙げられます。

NTTデータ経営研究所の開発した栽培管理システムは、富山拠点にてすでに本格運用が始まっています。

NTTデータグループのサービスは
生活のいたるところにあふれています



▲ 富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点
▶ ハウス内を移動しながら、温度・湿度・照度・作物画像のデータを取得する農業用ロボット「計太君」



株主コミュニケーション

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

●証券口座にて株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

●証券会社とのお取引がない株主様

下に記載の三井住友信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。

会社概要

商号	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
本社	〒135-6033 東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル
	電話: (03) 5546-8119 (IR・ファイナンス室)
	URL: http://www.nttdata.com/jp/ja/
	設立年月日 1988年5月23日
資本金	142,520百万円 (2015年9月30日現在)
従業員数	連 結: 80,132名 当社単体: 11,378名 (2015年9月30日現在)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
電子公告 (当社ホームページ URL: http://www.nttdata.com/jp/ja/)	ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告方法	
証券コード	9613

お知らせ

- 口座振替(特別口座から証券会社に開設した振替口座に株式を振替えること)のお手続きについては、以下の三井住友信託銀行のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

お問い合わせ先:

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話:  0120-782-031 (平日9:00～17:00)

株式に関するお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様のご住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

特別口座の株式についてのご照会およびご住所変更などのお届出は、上記のフリーダイヤルまでお願いいたします。

UD FONT

